

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	777	有害鳥獣駆除事業	会計	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を実践する	款	06	農林業費
			項	02	林業費
			目	02	林業振興費
担当部課名	青山支所産業建設課		細目	102	有害鳥獣駆除事業
作成者氏名	山内 敏	連絡先	細々目	01	有害鳥獣駆除事業
		52-3220			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
青山猟友会、猿駆除者		獣害被害の減少を図る。
本年度事業内容	有害鳥獣駆除出役賃金支払、野猿駆除報奨金支払 * 有害鳥獣駆除についてはH18年度から本庁へ	
開始年度	平成 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		鳥獣保護法

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	189	90	90
	委託料	189		
	報償費		90	90
	その他			
合計(A+B)		909	810	810
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	909	810	810
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
有害鳥獣駆除出役延べ人数	人	27	—	—
猿駆除数	頭	0	3	3

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
有害鳥獣駆除出役延べ人数	出役回数(延べ人数)が多いほど、獣害の軽減に繋がる。	人	27 目標 ()		
猿駆除数	猿の駆除数の増加が猿害の減少に繋がる	頭	0 目標 ()	3	3

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

野生動物の本来の棲息域である森林が林業不況で間伐が進まず、動物の食料となる植物が生育せず、人里近くに来て、農作物に被害を与えている状況が、被害拡大の一因であると考えられる。基本的には森林の広葉樹化を促進し、人間と野生動物のテリトリーの分離が必要であると考えられる。しかしながら、前述のことは直ちに実現することは難しいため、駆除により頭数を抑えることが必要。このため、シカについては捕獲規制の緩和を求めるとともに、サルについては県が行っていたレーダーを活用するなどにより群れの位置をおさえ猟友会の協力を得つつ駆除する。

評価	必要性	4	駆除許可には総生息数に関わりなく法により一定の期間と頭数制限があり、被害の状況により許可区域に工夫を加える必要がある。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	3		